

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	九州財務局長
【提出日】	平成25年5月8日
【四半期会計期間】	第51期第3四半期(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)
【会社名】	株式会社アクシーズ
【英訳名】	AXYZ Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐々倉 豊
【本店の所在の場所】	鹿児島県鹿児島市草牟田二丁目1番8号
【電話番号】	099(223)7385(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理部長 伊地知 高正
【最寄りの連絡場所】	鹿児島県鹿児島市草牟田二丁目1番8号
【電話番号】	099(223)7385(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理部長 伊地知 高正
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第50期 第3四半期連結 累計期間	第51期 第3四半期連結 累計期間	第50期
会計期間	自平成23年 7月1日 至平成24年 3月31日	自平成24年 7月1日 至平成25年 3月31日	自平成23年 7月1日 至平成24年 6月30日
売上高(千円)	11,526,983	11,229,074	15,221,927
経常利益(千円)	399,555	326,796	493,305
四半期(当期)純利益(千円)	266,154	226,956	326,236
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	272,744	254,185	325,687
純資産額(千円)	6,006,661	6,243,588	6,059,604
総資産額(千円)	8,557,746	8,864,501	8,582,517
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	47.39	40.41	58.09
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	70.2	70.4	70.6

回次	第50期 第3四半期連結 会計期間	第51期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 1月1日 至平成24年 3月31日	自平成25年 1月1日 至平成25年 3月31日
1株当たり四半期純損失金額 (円)	3.79	6.74

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政権交代後の経済政策や金融政策効果に対する期待感から、円安や株価の回復等明るい兆しが見られたものの、欧州債務問題等による海外経済の景気減速や厳しい雇用情勢を背景とした個人消費の低迷など、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

また、鶏肉業界におきましては、国内鶏肉在庫の充足感がやや解消されつつありますが、長引く鶏肉相場の低迷や飼料価格の高騰により、厳しい状況が続いております。

こうしたなか、当社グループの業績は、売上高は112億29百万円（前年同四半期比2.6%減）となりました。利益面につきましては、営業利益2億39百万円（同24.2%減）、経常利益3億26百万円（同18.2%減）となり、四半期純利益は2億26百万円（同14.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

鶏肉関連

鶏肉関連事業におきましては、上述のとおり厳しい環境のなかで、当社製品である「薩摩ハーブ悠然どり」とそれを使用した加工食品の拡販に注力いたしました。

以上のことから、売上高は90億69百万円（前年同四半期比0.4%増）、セグメント利益は78百万円（同29.1%減）となりました。

外食

外食事業におきましては、ピザハット店舗を5店舗閉店したことに加え、既存店ベースの売上も減少しております。また、店舗改修等による設備投資の影響もあり、売上高は21億59百万円（前年同四半期比13.5%減）、セグメント利益は1億58百万円（同21.9%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ2億81百万円増加し、88億64百万円となりました。これは主に、たな卸資産が1億75百万円、有形固定資産が1億1百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ97百万円増加し、26億20百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ1億83百万円増加し、62億43百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費の金額は、75百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	19,350,000
計	19,350,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年3月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年5月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,617,500	5,617,500	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 (100株)
計	5,617,500	5,617,500	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年1月1日～ 平成25年3月31日	-	5,617,500	-	452,370	-	428,340

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年12月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 1,400	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 5,615,800	56,158	-
単元未満株式	普通株式 300	-	1単元（100株）未満の株式
発行済株式総数	5,617,500	-	-
総株主の議決権	-	56,158	-

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
株式会社アクシーズ	鹿児島市草牟田二丁目1番8号	1,400	-	1,400	0.02
計	-	1,400	-	1,400	0.02

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年1月1日から平成25年3月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年7月1日から平成25年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,407,312	1,582,280
受取手形及び売掛金	1,300,546	1,150,137
製品	196,482	201,862
仕掛品	176,384	221,284
原材料及び貯蔵品	734,342	859,680
その他	186,926	314,643
貸倒引当金	767	527
流動資産合計	4,001,227	4,329,363
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	345,705	349,622
工具、器具及び備品(純額)	431,324	512,324
土地	2,759,987	2,760,387
その他(純額)	66,944	83,115
有形固定資産合計	3,603,961	3,705,450
無形固定資産	36,849	23,079
投資その他の資産		
投資その他の資産	944,435	808,713
貸倒引当金	3,956	2,104
投資その他の資産合計	940,478	806,608
固定資産合計	4,581,289	4,535,138
資産合計	8,582,517	8,864,501
負債の部		
流動負債		
買掛金	360,963	418,541
1年内返済予定の長期借入金	24,250	-
短期借入金	-	100,000
未払金	974,234	962,442
未払法人税等	91,739	57,210
賞与引当金	-	82,338
その他	154,922	137,577
流動負債合計	1,606,108	1,758,110
固定負債		
社債	499,800	499,800
退職給付引当金	188,703	188,549
役員退職慰労引当金	107,370	102,348
その他	120,929	72,104
固定負債合計	916,804	862,802
負債合計	2,522,913	2,620,912

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	452,370	452,370
資本剰余金	428,340	428,340
利益剰余金	5,141,203	5,297,959
自己株式	1,087	1,087
株主資本合計	6,020,826	6,177,582
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,777	66,006
その他の包括利益累計額合計	38,777	66,006
純資産合計	6,059,604	6,243,588
負債純資産合計	8,582,517	8,864,501

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】

【 四半期連結損益計算書 】

【 第 3 四半期連結累計期間 】

(単位 : 千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 7 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 7 月 1 日 至 平成25年 3 月31日)
売上高	11,526,983	11,229,074
売上原価	8,115,850	8,055,948
売上総利益	3,411,133	3,173,126
販売費及び一般管理費	3,094,668	2,933,345
営業利益	316,465	239,781
営業外収益		
受取利息	2,209	2,317
受取配当金	2,205	2,253
持分法による投資利益	60,427	47,303
その他	28,433	44,015
営業外収益合計	93,276	95,891
営業外費用		
支払利息	6,475	5,653
為替差損	1,729	-
その他	1,980	3,222
営業外費用合計	10,186	8,875
経常利益	399,555	326,796
特別利益		
固定資産売却益	25,388	-
受取保険金	-	56,098
特別利益合計	25,388	56,098
特別損失		
固定資産除却損	1,252	-
固定資産圧縮損	-	44,918
災害による損失	-	5,384
特別損失合計	1,252	50,302
税金等調整前四半期純利益	423,691	332,592
法人税、住民税及び事業税	174,280	145,242
法人税等調整額	16,743	39,605
法人税等合計	157,536	105,636
少数株主損益調整前四半期純利益	266,154	226,956
四半期純利益	266,154	226,956

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	266,154	226,956
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	6,590	27,229
その他の包括利益合計	6,590	27,229
四半期包括利益	272,744	254,185
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	272,744	254,185

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。

なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
受取手形	1,184千円	2,469千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)
減価償却費	204,052千円	197,266千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成24年3月31日)

配当に関する事項

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年9月22日 定時株主総会	普通株式	70,200	12.50	平成23年6月30日	平成23年9月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成25年3月31日)

配当に関する事項

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年9月21日 定時株主総会	普通株式	70,200	12.50	平成24年6月30日	平成24年9月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	鶏肉関連	外食	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,030,092	2,496,890	11,526,983	-	11,526,983
セグメント間の内部売上高又は振替高	204	-	204	204	-
計	9,030,297	2,496,890	11,527,188	204	11,526,983
セグメント利益	110,773	203,302	314,076	2,389	316,465

- (注) 1. セグメント利益の調整額2,389千円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	鶏肉関連	外食	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,069,767	2,159,306	11,229,074	-	11,229,074
セグメント間の内部売上高又は振替高	116	-	116	116	-
計	9,069,884	2,159,306	11,229,190	116	11,229,074
セグメント利益	78,556	158,837	237,393	2,387	239,781

- (注) 1. セグメント利益の調整額2,387千円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額	47円39銭	40円41銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	266,154	226,956
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	266,154	226,956
普通株式の期中平均株式数(株)	5,616,060	5,616,060

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年5月1日

株式会社アクシーズ
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 工藤 重之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 竹之内 高司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アクシーズの平成24年7月1日から平成25年6月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年1月1日から平成25年3月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年7月1日から平成25年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アクシーズ及び連結子会社の平成25年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。